

保育園自己評価表

2021年度

園名 まあむキッズ大野北口新園

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある優しい子 ・自分で決めて自分でおこなえる子 <p>【達成度】</p> <p>〈思いやりのある優しい子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2、3歳は、まあむの特徴である異年齢混合保育の機会を意図的に設けた。ペアになって一緒に散歩に出かける、朝の会や帰りの会を一緒に行う、朝や夕方一緒に遊ぶなどを通して、年上の子が年下の子にやさしく声をかけたり、励ましたり、お手本となったりする姿が見られた。 ・職員が優しい言葉遣いで、子どもたちに優しく接する姿を見せることで、それを目している子どもたちも同じように困っている子や泣いている子に声をかけたり、おもちゃを持ってきてあげたりすることがふえた。 <p>〈自分で決めて自分で行える子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや遊びを自分で選べるようコーナー作ったり配置を工夫したりすることで、自分で決め、納得いくまで遊べるようになってきた。 ・同じ興味を持った友達と工夫しながら遊ぶ力がついてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現担当と前担当で、情報共有し個々への関わり方などアドバイスしあい、クラス運営に生かすようにした。 ・子どもの様子や、現在取り組んでいることなどを月の学年会議や職員会議で共有するようにし、担当だけでなく他の職員もその子の育ちに寄り添うようにした。 ・週に一度、次週の保育計画について話し合う機会を設け、他のクラスの活動を理解するとともに、異年齢で一緒にできる活動の計画につなげることができた。 ・同じフロアで過ごす他クラスにも気を配り、おむつ替えや個々の対応でその場を離れる時には声を掛け合い、子どもたちの安全確保に努めた。 ・年齢や経験年数、勤務形態の異なる職員がいる中で、お互いの意見に耳を傾け、尊重しあう園になるよう努めた。施設長や主任が相談に乗ったり、少し先輩の先生が若い先生にアドバイスをしたりすることで保育の質の向上がはかれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防の観点から、地域の方や他の保育園など関わる機会は少なかった。また、地域にお住まいのお子さんや保護者の方が参加できる「音遊び」など子育て広場も開催することが難しかった。 ・散歩の途中や行った先の公園で地域の方や遊んでいる親子には、進んで挨拶をするようにした。気持ちよく言葉を返してくださる方が多く今後も継続していきたい。 ・地域の公園や公共の場を利用する際は、マナーを守り、利用している方の迷惑にならないように活動を行うよう心掛けた。 ・栽培活動で育てる野菜の苗や、近場の遠足で食べるおやつなどは、地域のお店に買い物に行きお店の方とやり取りをするなどして地域とつながることができた。 ・公園だけでなく地域のいろいろな施設や場所に散歩にでかけ、地域の様子やそこで働く人、自然に親しむようにした。

①施設長、主任による各職員への聞き取り調査

②年度末に記入した「2021年度の振り返りと2022年度に向けて」より